



## 2021年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年9月14日

上場会社名 Hamee株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3134 URL https://hamee.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 敦士  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員CFO (氏名) 富山 幸弘 (TEL) 0465-42-9083  
 四半期報告書提出予定日 2020年9月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年4月期第1四半期の連結業績(2020年5月1日~2020年7月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第1四半期	2,684	4.9	415	8.2	400	0.2	260	△10.6
2020年4月期第1四半期	2,557	14.5	384	63.9	399	66.7	291	66.7

(注) 包括利益 2021年4月期第1四半期 281百万円(26.2%) 2020年4月期第1四半期 222百万円(39.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第1四半期	16.54	16.39
2020年4月期第1四半期	18.41	18.26

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第1四半期	7,879	4,975	61.7
2020年4月期	8,096	4,824	57.9

(参考) 自己資本 2021年4月期第1四半期 4,863百万円 2020年4月期 4,685百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2021年4月期	—	—	—	—	—
2021年4月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年4月期の連結業績予想(2020年5月1日~2021年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,832	13.3	1,778	1.9	1,764	0.4	1,260	17.9	79.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は年次で業績管理を行っているため、業績予想につきましては通期のみの記載となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年4月期1Q	16,203,400株	2020年4月期	16,135,600株
② 期末自己株式数	2021年4月期1Q	392,678株	2020年4月期	343,925株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年4月期1Q	15,766,779株	2020年4月期1Q	15,846,656株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により社会・経済活動が急速に停滞し、極めて厳しい状況となりました。経済活動は徐々に再開されており、今後緩やかに回復に向かうと考えているものの、同感染症の第2波到来等、収束時期は長期化し当連結会計年度を通して影響が続く可能性も否定できず、国内外ともに経済の下振れリスクを内包した状況で推移しました。

当社グループとしては、同感染症の影響下において、事業を継続させるべく様々な取組みを行っております。具体的には、経営の安定性を図るための手元流動性の確保、在宅勤務の実施、国内外への出張及び渡航規制の強化、感染防止策の周知徹底、国内外のネットワークを通じた各地動向の把握など、状況に応じた施策を講じております。引き続き、当社グループ社員、ステークホルダーの皆さまの安全を最優先として、当社グループとしての社会的責務を全うすべく、政府の方針・行動計画・要請に基づいた感染予防・感染拡大防止に取り組むと同時に、事業の成長に努めてまいります。

このような経営環境のもと、モバイル(スマートフォン及び携帯電話)アクセサリーの販売について、強化ガラスを活用した透明なiFaceシリーズ「iFace Reflection」が引き続き市場のニーズを捉えてコマース事業全体を牽引しております。国内卸販売につきましては同感染症拡大の影響に伴う消費者の外出自粛や実店舗の短縮営業・臨時休業等によって大きく落ち込んだものの、経済活動が徐々に再開されたことにより着実に回復しております。また国内小売につきましては、日常生活の変容による巣ごもり消費の顕著化やEC利用へのデジタルシフト等、消費行動の大きな変化により前年を大きく上回るペースで成長しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,684,108千円(前年同四半期比4.9%増)、営業利益は415,976千円(同8.2%増)、経常利益は400,401千円(同0.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は260,712千円(同10.6%減)となりました。

なお、当社は経済産業省と東京証券取引所が、経営革新、収益水準・生産性の向上をもたらす積極的なIT利活用に取り組んでいる企業を選定する「攻めのIT経営銘柄」に2016年から2018年まで3年連続で、2019年には「IT経営注目企業2019」に選定されてきましたが、今年は「攻めのIT経営銘柄」が「デジタルトランスフォーメーション銘柄(DX銘柄)」に制度を変更し、栄えある第1回でDX銘柄に選定され、5年連続での受賞となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

#### ① コマース事業

「iFace Reflection」シリーズにおいて、2019年に発売してから継続的に新商品をリリースした事による商品認知度の高まりの他、2020年4月にiPhone SE(第2世代)の発売もあり、引き続き好調に推移しました。また定番である「iFace First Class」シリーズも堅調に推移しました。

国内卸販売においては、消費者の外出自粛や実店舗の短縮営業・臨時休業によって落ち込んだものの、経済活動の再開等を受け回復傾向にあります。また、国内小売においては、外出自粛要請や各種学校の臨時休校等を要因とする巣ごもり需要やデジタルシフト等の消費行動の大きな変化によりEC市場の市場拡大の影響が見られたことから、前年同四半期比134%と大幅増収となりました。

海外市場について、米国においては新型コロナウイルス感染症の影響により卸販売が落ち込んだものの、国内同様に小売が好調に推移し、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、コマース事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は2,084,678千円(前年同四半期比0.5%増)、セグメント利益(営業利益)は506,731千円(同1.1%増)となりました。

## ② プラットフォーム事業

前述の巣ごもり消費の顕著化やEC利用へのデジタルシフト等、消費行動の変化による市場拡大の影響により、ネクストエンジン顧客企業の受注処理件数も増加する流れとなり、当該トランザクションに紐づく従量課金制としているネクストエンジンの売上も好調に推移しました。また、EC事業への進出を希望する企業に対する支援、既にEC事業へ進出している企業に対する各種サービスやツール導入支援を目的として、ネクストエンジンに加えパートナー企業が提供する支援策をとりまとめるなど、プラットフォームとしての付加価値向上につとめました。また、サーバー費用が相対的に減少する等の原価削減効果もあり、増収増益となりました。

これらの活動の結果、総契約数は4,179社(前連結会計年度末比182社増)、利用店舗数31,771店(同936店増、いずれも自社調べ)となりました。

なお、EC事業者向け販売支援コンサルティングを提供するHameeコンサルティング株式会社について、コンサルタントの離職率が改善されたことに伴い、新たな採用活動に対する費用支出が抑制されるなど、一部経費が減少したことにより、当第1四半期連結累計期間において増益となりました。

これらの結果、プラットフォーム事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は549,632千円(前年同四半期比21.9%増)、セグメント利益(営業利益)は主としてネクストエンジンの売上増加による売上総利益の増加による影響により、セグメント利益(営業利益)は230,720千円(同81.2%増)となりました。

## ③ その他

コマース事業、プラットフォーム事業のいずれにも明確に分類できない新たなサービスに係るものであり、ふるさと納税支援サービスやネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス、スマートフォンを持たないお子様のための音声メッセージロボット「Hamic BEAR」、2020年3月にオープンしたエシカルネットショップ「RUKAMO」等が含まれます。特にふるさと納税支援サービスは、市場(寄付額)の拡大もあり大幅に伸長したため、当第1四半期連結累計期間の売上高は50,126千円(前年同四半期比54.6%増)となりました。一方セグメント損益(営業損益)は、2020年3月にサービスを開始したRUKAMOや開発中であるHamic新シリーズ等への先行投資が嵩んだため81,559千円の損失(前年同四半期は37,743千円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ216,755千円減少し、7,879,770千円となりました。これは主に、法人税の納税に伴う未払法人税等の減少、消費税の納税に伴う未払消費税等の減少、自己株式の取得等により現金及び預金が163,935千円減少したこと等の結果によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ368,176千円減少し、2,903,984千円となりました。これは主に、法人税の納税に伴う未払法人税等の減少251,672千円、未払金の減少153,644千円等によるものであります。前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大への対策として、経営の安定性を図るため、金融機関からの借入金により手元流動性を厚くしており、短期借入金は1,611,850千円となっております。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ151,421千円増加し、4,975,786千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益260,712千円の計上、ストックオプションの行使に伴う資本金及び資本準備金の増加各35,871千円、剰余金の配当110,541千円、自己株式の増加65,064千円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年6月12日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,453,297	3,289,362
受取手形及び売掛金	1,230,062	1,134,152
商品	1,054,844	1,125,788
仕掛品	3,382	3,124
原材料及び貯蔵品	5,207	5,507
その他	523,676	496,999
貸倒引当金	△11,723	△37,408
流動資産合計	6,258,748	6,017,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	204,725	205,030
減価償却累計額	△45,517	△49,999
建物及び構築物(純額)	159,208	155,030
工具、器具及び備品	440,696	517,931
減価償却累計額	△329,805	△376,437
工具、器具及び備品(純額)	110,891	141,493
建設仮勘定	299,015	301,697
有形固定資産合計	569,114	598,221
無形固定資産		
のれん	514,544	468,830
ソフトウェア	230,164	224,128
商標権	16,577	15,939
その他	28	28
無形固定資産合計	761,315	708,928
投資その他の資産		
投資有価証券	15,342	18,677
関係会社株式	43,200	47,164
繰延税金資産	289,000	334,491
その他	159,803	154,760
投資その他の資産合計	507,347	555,095
固定資産合計	1,837,777	1,862,244
資産合計	8,096,525	7,879,770

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	166,127	189,634
短期借入金	1,600,000	1,611,850
1年内返済予定の長期借入金	48,036	48,036
未払金	660,915	507,270
未払費用	182,402	178,855
未払法人税等	453,119	201,447
賞与引当金	2,789	1,613
返品調整引当金	6,716	3,396
ポイント引当金	2,414	2,457
その他	23,529	41,050
流動負債合計	3,146,051	2,785,613
固定負債		
長期借入金	91,889	79,880
退職給付に係る負債	9,365	10,666
その他	24,853	27,824
固定負債合計	126,108	118,370
負債合計	3,272,160	2,903,984
純資産の部		
株主資本		
資本金	536,677	572,548
資本剰余金	456,677	492,548
利益剰余金	4,166,941	4,317,111
自己株式	△313,117	△378,181
株主資本合計	4,847,178	5,004,026
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△161,192	△140,831
その他の包括利益累計額合計	△161,192	△140,831
新株予約権	138,380	112,591
純資産合計	4,824,365	4,975,786
負債純資産合計	8,096,525	7,879,770

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2020年7月31日)
売上高	2,557,816	2,684,108
売上原価	1,152,921	1,053,295
売上総利益	1,404,894	1,630,813
返品調整引当金戻入額	6,807	6,716
返品調整引当金繰入額	5,203	3,396
差引売上総利益	1,406,498	1,634,133
販売費及び一般管理費	1,021,986	1,218,156
営業利益	384,511	415,976
営業外収益		
受取利息	85	158
保険返戻金	19,351	—
持分法による投資利益	6,280	1,155
受取補償金	1,449	3,295
その他	765	960
営業外収益合計	27,933	5,570
営業外費用		
支払利息	633	2,642
支払保証料	1,629	1,337
為替差損	5,391	10,454
その他	5,097	6,710
営業外費用合計	12,751	21,145
経常利益	399,693	400,401
特別利益		
固定資産売却益	—	378
新株予約権戻入益	2,516	1,258
特別利益合計	2,516	1,636
特別損失		
固定資産除却損	1,298	—
投資有価証券評価損	—	10,164
為替換算調整勘定取崩損	—	868
特別損失合計	1,298	11,032
税金等調整前四半期純利益	400,910	391,004
法人税、住民税及び事業税	108,423	174,852
法人税等調整額	799	△44,560
法人税等合計	109,223	130,292
四半期純利益	291,687	260,712
親会社株主に帰属する四半期純利益	291,687	260,712



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2020年7月31日)
四半期純利益	291,687	260,712
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△68,913	20,361
その他の包括利益合計	△68,913	20,361
四半期包括利益	222,773	281,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	222,773	281,073
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コマース 事業	プラット フォーム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,074,602	450,786	2,525,389	32,427	2,557,816	—	2,557,816
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,074,602	450,786	2,525,389	32,427	2,557,816	—	2,557,816
セグメント利益又は損失(△)	501,373	127,303	628,676	△37,743	590,933	△206,422	384,511

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△206,422千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年5月1日 至 2020年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コマース 事業	プラット フォーム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,084,678	549,303	2,633,981	50,126	2,684,108	—	2,684,108
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	329	329	—	329	△329	—
計	2,084,678	549,632	2,634,310	50,126	2,684,437	△329	2,684,108
セグメント利益又は損失(△)	506,731	230,720	737,451	△81,559	655,892	△239,916	415,976

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ふるさと納税支援サービス、ネクストエンジンのメイン機能に紐づかないEC事業者向けのサービス等を含んでおります。

(注)2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△239,916千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。